

J・Kガルブレイス著
特集 『不確実性の時代』をどう読むか

批評・分析 丹羽春喜教授

インタビュー

ガルブレイスの本が売れている。表題は「不確実性の時代」と何やら謎めいたもの。以前から、既成概念を破った奇抜な問題提起で日本でも定評があった。そこで今回、編集部としては「不確実性の時代」の経済学者・ガルブレイスに焦点を当ててみた。なお進行に当たっては、本学経済学部教授であり、比較経済体制論の権威であられる丹羽春喜氏にお願ひして彼の理論、及び現代社会全般の問題について分析考察してもらった。

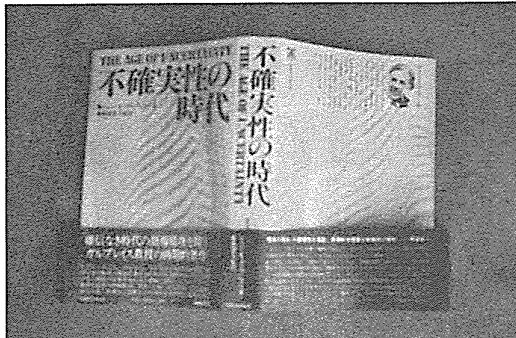
John K. Galbraith

一九〇八年生まれ。アメリカの経済学者。ハーバード大学教授。ケネディ時代にも有名なブレインとして政策決定のたびに数々の助言を与えた。現在では経済学のみならず、広く他の分野に於ても特異な活動を示し、創作活動にも熱心である。

ガルブレイス理

論の存在意義
 編集部 今回、編集部は「不確実性の時代」のガルブレイスにスポットを当ててみた訳なんです。先生は同じ経済学者としてガルブレイスの本をどう評価されるでしょうか。
 丹羽 ガルブレイスという人は非常に我々の関心をかき立てるが上手な人であり、問題提起が巧みで、人の意表をいたような論議をよくします。そういう意味では面白いのですが……しかしそれが経済学の教科書として読まれるのは困るんですね。まあ、これは一つの面白い物語なんだと思っていれば、一種のブレン・ストリーミング的に活用すればいいと思う。編集部 ガルブレイス経済学の現代的意義、即ち、現代社会に於ける存在価値はどの辺にあるのでしょうか。

丹羽 実は彼の経済学が存在意義は、従来の経済学の概念をアップデートして、センサーショナルな問題提起



か。

丹羽 そういふ事だと思ひます。ただ、オールドツクナな経済学を十分に勉強した後で、ブレン・ストリーミング的に活用してみよう。新しい問題提起を試みて、頭をフレッシュする為に彼の本を活用されるのが良いと思ひます。ただ、学生にとって最も大切な事は、まず、オールドツクナな経済理論を勉強する事だと、このことを忘れて下さい。

編集部 オールドツクナな経済理論とは、例えばどの程度の学説は標準的な経済学の体系と非常にかけ離れていて、そういう意味で彼の方々の辻褃の合わない事を言っている。で、そういうことからして彼の本の価値が下がる訳でもないのです。その様なものだから……

編集部 さてと、純粋な経済学としての彼の経済学論と、現代の経済理論とを比較して、彼の経済理論及びマントとかの考え方も学ばなければならないと思うのですが、

そしてその後、更に問題意識を新鮮にする為に、ガルブレイスを読まれるのがよいでしょう。だから、順序を間違えなされないように、せいかく先人が遺した出来上がった、そして、美しく出来上がった、けれど、今日でも非常に役に立っている、現代経済学の理論体系を勉強しようという事には……してしまわないために……

「確心」なきガルブレイス

編集部 ところで本題ですが、混迷する現代社会の指導原理を問う等何やら仰々しい宣伝文句でですね。この本を読まれましたら、本来的な印象はどうでしたか。
 丹羽 この「不確実性の時代」というのは、本来的には結構な時代と言った方がよいから、僕自身が確心を失ってしまったんじゃないかと、結局ガルブレイス自身が確心を失ってしまったんじゃないかと、結構な時代と言った方がよいから、僕自身が確心を失ってしまったんじゃないかと、結局ガルブレイス自身が確心を失ってしまったんじゃないかと……

ヘの反論
 編集部 「不確実性の時代」の具体的内容の質問については、彼が「彼はこの本の中で東西両側面は収容されるかどうですかね。」と云うので、それについて丹羽 それらという事ですが、彼の論理から言いますと、西側でもソ連国内でも物をつくるという生産プロセスというものは同じよう物を作るプロセスというものは、同じように物が作らうとすれば作るのだから……。事実、ソ連では、国民の好まぬような粗悪な消費財が大量に生産され、その結果、経済的な停滞にもつながります。ソ連はほとんど軍用品生産を生産している一方、資本主義的な経済システムにおいては、消費者が買ってくれるようなものを大企業といえども作れません。もし作っていたら、それは大企業といえども倒産してしまっているでしょう。だから企業の競争は、広告や宣伝を通じた消費者への訴求、消費者の購買力向上、消費者への訴求、消費者への訴求、消費者への訴求……

は、国民の好まぬような粗悪な消費財が大量に生産され、その結果、経済的な停滞にもつながります。ソ連はほとんど軍用品生産を生産している一方、資本主義的な経済システムにおいては、消費者が買ってくれるようなものを大企業といえども作れません。もし作っていたら、それは大企業といえども倒産してしまっているでしょう。だから企業の競争は、

は、国民の好まぬような粗悪な消費財が大量に生産され、その結果、経済的な停滞にもつながります。ソ連はほとんど軍用品生産を生産している一方、資本主義的な経済システムにおいては、消費者が買ってくれるようなものを大企業といえども作れません。もし作っていたら、それは大企業といえども倒産してしまっているでしょう。だから企業の競争は、

は、国民の好まぬような粗悪な消費財が大量に生産され、その結果、経済的な停滞にもつながります。ソ連はほとんど軍用品生産を生産している一方、資本主義的な経済システムにおいては、消費者が買ってくれるようなものを大企業といえども作れません。もし作っていたら、それは大企業といえども倒産してしまっているでしょう。だから企業の競争は、

は、国民の好まぬような粗悪な消費財が大量に生産され、その結果、経済的な停滞にもつながります。ソ連はほとんど軍用品生産を生産している一方、資本主義的な経済システムにおいては、消費者が買ってくれるようなものを大企業といえども作れません。もし作っていたら、それは大企業といえども倒産してしまっているでしょう。だから企業の競争は、

は、国民の好まぬような粗悪な消費財が大量に生産され、その結果、経済的な停滞にもつながります。ソ連はほとんど軍用品生産を生産している一方、資本主義的な経済システムにおいては、消費者が買ってくれるようなものを大企業といえども作れません。もし作っていたら、それは大企業といえども倒産してしまっているでしょう。だから企業の競争は、

は、国民の好まぬような粗悪な消費財が大量に生産され、その結果、経済的な停滞にもつながります。ソ連はほとんど軍用品生産を生産している一方、資本主義的な経済システムにおいては、消費者が買ってくれるようなものを大企業といえども作れません。もし作っていたら、それは大企業といえども倒産してしまっているでしょう。だから企業の競争は、

は、国民の好まぬような粗悪な消費財が大量に生産され、その結果、経済的な停滞にもつながります。ソ連はほとんど軍用品生産を生産している一方、資本主義的な経済システムにおいては、消費者が買ってくれるようなものを大企業といえども作れません。もし作っていたら、それは大企業といえども倒産してしまっているでしょう。だから企業の競争は、

は、国民の好まぬような粗悪な消費財が大量に生産され、その結果、経済的な停滞にもつながります。ソ連はほとんど軍用品生産を生産している一方、資本主義的な経済システムにおいては、消費者が買ってくれるようなものを大企業といえども作れません。もし作っていたら、それは大企業といえども倒産してしまっているでしょう。だから企業の競争は、

新入生諸君に送る言葉

充実した大学生活を

——人生・大学・自己の原点を求めて——

理3 玉木伸芳

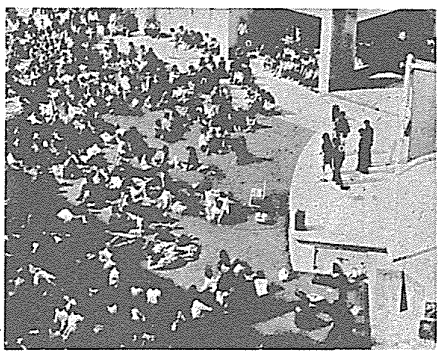
《はじめに》 新入生諸君、御入学おめでとうございます。入学式から早くも2ヶ月が過ぎました。入試から早くも2ヶ月が過ぎました。入試から早くも2ヶ月が過ぎました。入試から早くも2ヶ月が過ぎました。

《おわりに》 新入生諸君、御入学おめでとうございます。入学式から早くも2ヶ月が過ぎました。入試から早くも2ヶ月が過ぎました。入試から早くも2ヶ月が過ぎました。入試から早くも2ヶ月が過ぎました。

《おわりに》 新入生諸君、御入学おめでとうございます。入学式から早くも2ヶ月が過ぎました。入試から早くも2ヶ月が過ぎました。入試から早くも2ヶ月が過ぎました。入試から早くも2ヶ月が過ぎました。

学内散歩

神山の緑が目に目に色づいて、すがすがしく目映つて、もって有意義に過ごる今日この頃です。いつの間にか新入生諸君が産大の間に空気が変わったのか、もう誰かが一回生で、誰か上級生でない人はいないのかと見分けがつかない。



京都産業大学新聞綱領

京都産業大学新聞局は前新聞局の反省をふまえ以下のこと宣言する。 京都産業大学新聞は志学会の自治活動の重要な一部であり同時に学園内部の新聞であることからも「教育の精神」の規定を基本的編集原則とすべきであると確信する。

京都産業大学新聞局

昭和三十二年一月十三日 以上